



荘厳な音色 観客うっとり

北大でコンサート

北 区

札幌コンサートホ
ール・キタラ（中

央区中島公園）の第19代専
属オルガニストを務めるマ
ルタン・グレゴリウスさん
によるコンサートが10日、
北大で開かれました。写真

Ⅱ。市民ら約300人がパイ
オルガンの荘厳な音色
に聞き入りました。

グレゴリウスさんはポー
ランド出身。1年契約で今
月末まで札幌で演奏活動を
しています。コンサートで
は、ニコラウス・クラコヴ
イエンシスの「ボズナン
のエル」、ミエチスワフ・
スジンスキの「ポーランド
の聖歌「聖なる神」による
即興曲」、マリアン・サヴ
アの「踊る絵」など、この
500年のポーランドオル
ガン音楽を代表する名曲を
演奏しました。

アンコールでは直前に立
ち寄った学内の喫茶店で流
れていた北大寮歌「都ぞ弥
生」を即興でアレンジして
演奏。観客からは「おしゃ
れに聞こえる」など歓声が
上がっていました。

（樋口雄大）